# オプションサービスがご利用できます

オプションサービスは、ご契約した地域別のサービスとなっております。下図を参照して、該当ページをご覧ください。

※転送電話サービス、留守番電話サービスの両サービスのことを秘書サービスと呼びます。



# 転送電話サービスを利用する F71

## かかってきた電話を他の電話機やポケットベルなどに転送します

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、またはV303Tを携帯していないときなど、あらかじめ設定しておいた電話番号へ転送することができます。

- **地域によっては、画面表示が異なる場合があります。**
- **ご契約いただいた地域以外からは、サービスコード（☞12-17、12-18ページ）をご利用になるか、一般電話（☞12-19、12-21ページ）から操作を行ってください。**
- **圏外の場合は、一般電話（☞12-19、12-21ページ）から操作を行ってください。**
- 転送電話サービスが行われる条件は、以下の4通りです。
  - ・**電源が入っていないとき**
  - ・**「圏外（圏外）」が表示されているとき**
  - ・**オフラインモードが設定（ON）されているとき**
  - ・**応答しないで着信音が停止したあと**
- V303Tでお話中のときは、転送電話サービスに移行されません（ただし、割込通話サービスにお申し込みいただいている場合は転送電話サービスに移行されます）。

## ■転送先の電話番号を登録する

**1** ○● 7PQRSま 1.@あ の順に押す

**2** ◎で「転送先番号」選択し、● を押す

**3** 転送先の電話番号を入力し、● を押す

▶ネットワークに接続されます。
- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

- 登録先が一般電話のときは、市内であっても市外局番から、また携帯電話のときは相手の電話番号（全桁）を入力してください。
- 転送電話サービスを利用するには、電話番号を登録したあと、転送条件を設定する操作（☞12-4ページ）を行ってください。

つづく▶

- 転送先の電話番号は、最大24桁まで登録できます。
- 以下の電話番号は転送先として登録できません。
  「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
  「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）
- 転送電話の課金方法については、12-29、12-30ページを参照してください。

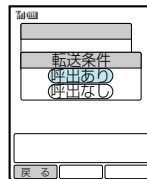
## ■転送条件を設定する

- **関東・甲信／東海／関西以外の地域では、現在「呼出なし」はご利用になれません。**
- **ご契約いただいた地域以外からは、サービスコード（☞12-17、12-18ページ）をご利用になるか、一般電話（☞12-19、12-21ページ）から操作を行ってください。**
- **圏外の場合は、一般電話（☞12-19、12-21ページ）から操作を行ってください。**

例 呼び出し中に応答しなければ、転送するように設定する場合（「**呼出あり**」）

**1 次の操作で「転送条件」を呼び出す**

① ◯● 7 1 の順に押す
② ◯ で「**転送条件**」を選択する

**2 ● を押す**

**3 ◯ で「呼出あり」を選択し、● を押す**

▶ネットワークに接続され、「**テンソウサービスON**」と表示されます。
- 「**呼出なし**」に設定すると着信音は鳴らず、すぐに転送されます。
- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
- 「**呼出あり**」の場合は、呼び出し時間を変更することができます（☞12-12ページ）。
  ただし、東北・新潟／中国／四国地域では変更できません。

- 転送条件を設定する前に、転送先の電話番号を登録してください（☞12-3ページ）。
- 転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービス（☞12-5、12-7、12-9ページ）は、ご利用になれません。
- F23「着信禁止」（☞6-4ページ）をONに設定し、転送条件を「**呼出あり**」に設定した場合、転送電話サービスに移行されません。

「**呼出あり**」の転送電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に応答すると、そのまま相手と通話ができます。





関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様 **F72**

# 留守番電話サービスを利用する

- **北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は12-7ページをご参照ください。**
- **東北・新潟／中国／四国地域のお客様は12-9ページをご参照ください。**

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。
- **ご契約いただいた地域以外からは、サービスコード（☞12-17ページ）をご利用になるか、一般電話（☞12-19ページ）から操作を行ってください。**
- **圏外の場合は、一般電話（☞12-19ページ）から操作を行ってください。**

## ■留守番電話サービスを設定する

例 呼び出し中に応答しなければ、留守番電話へ接続するように設定する場合（「**呼出あり**」）

**1 ◯● 7 2 の順に押す**

**2 ◯ で「呼出あり」を選択し、● を押す**

▶ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。
- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
- 「**呼出あり**」の場合は、呼び出し時間を変更することができます（☞12-12ページ）。
- 「**呼出なし**」に設定すると着信音は鳴らず、すぐに留守番電話へ接続されます。

留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービス（☞12-3ページ）は、ご利用になれません。

- 「**呼出あり**」の留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に応答すると、そのまま相手と通話ができます。
- 「1416」をダイヤルしたあと「4」を押すことにより、不在案内の操作を行うことができます。

## ■メッセージお預かり表示「📼」について

**留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「📼」が表示されます。**

・電源をONにしたとき
・発信、着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です）

- 「1415」をダイヤルすることにより、メッセージの有無を確認することができます（通話料無料）。
- 「📼」はV303Tで新しいメッセージを聞いたときに消えます（ただし、一般電話などから遠隔操作でメッセージを聞き出したときには、上記のいずれかの操作を行うまで「📼」は消えません）。

## ■メッセージを聞くとき

### V303Tから伝言を聞く

**1** 1 4 1 6 📞 **の順に押す**

以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

### 一般電話から伝言を聞く

**2 留守番電話センターの電話番号をダイヤル**

| ご契約の当社各地域 | センターの電話番号 |
|---|---|
| 関東・甲信 | 090-391-1416 |
| 東海 | 090-393-1416 |
| 関西 | 090-392-1416 |

▶ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。
以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

## ■かかってきた電話を留守番電話センターに転送する

あらかじめ留守番電話サービスを設定していなくても、かかってきた電話を留守番電話センターへ転送することができます。

**1 着信中に ◎ Power の順に押す**

▶着信を留守番電話センターに転送し、お知らせ一発メニュー（☞11-2ページ）が表示されます。

通話中に割込みの電話がかかってきたときも、同様の操作で留守番電話センターに転送することができます。ただし、割込通話サービス（☞12-22ページ）をお申し込みで、F75「割込通話設定」（☞12-22ページ）をONに設定している必要があります。





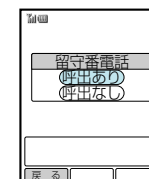
# 留守番電話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です） F72

- **関東・甲信／東海／関西地域のお客様は12-5ページをご参照ください。**
- **東北・新潟／中国／四国地域のお客様は12-9ページをご参照ください。**

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。

- **月額使用料がかかります。**
- **地域によっては、画面表示が異なる場合があります。**
- **ご契約いただいた地域以外からは、サービスコード（☞12-18ページ）をご利用になるか、一般電話（☞12-19ページ）から操作を行ってください。**
- **圏外の場合は、一般電話（☞12-19ページ）から操作を行ってください。**

## ■留守番電話サービスを設定する

**1** ◎ 7 2 **の順に押す**

**2** ◎ **で「呼出あり」を選択し、**● **を押す**

▶ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
- 現在、「**呼出なし**」はご利用いただけません。

留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービス（☞12-3ページ）は、ご利用になれません。

- 留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま相手と通話ができます。
- 留守番電話センターへ接続するまでの呼び出し時間を変更する場合は、12-12ページを参照してください。
- 留守番電話サービスを解除する場合は、秘書サービスの設定を解除してください（☞12-13ページ）。

## ■メッセージお預かり表示「1416」について

**留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「1416」が表示されます。**

・地域内で電源をONにしたとき
・発信・着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です）

「1416」はV303Tで新しいメッセージを聞いたときに消えます（ただし、一般電話などから遠隔操作でメッセージを聞き出したときには、上記のいずれかの操作を行うまで「1416」は消えません）。

## ■メッセージを聞くとき

### V303Tから伝言を聞く

**1** 1 4 1 6 （発信）の順に押す

以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

パーソナルオプション（留守番電話サービスの各種機能の設定）も上記の操作にてご利用できます。

### 一般電話から伝言を聞く

**1** 留守番電話センターの電話番号をダイヤル

| ご契約の当社各地域 | センターの電話番号 |
|---|---|
| 北海道 | 090-130-1416 |
| 北陸 | 090-131-1416 |
| 九州・沖縄 | 090-341-1416 |

▶ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。
以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

## ■パーソナルオプションについて

**交換機用暗証番号（☞1-15ページ）の入力の条件設定**
留守番電話サービスのご利用時に暗証番号の入力が必要かどうかを選択できます。
**応答メッセージの録音**
電話をかけてきた相手の方への応答メッセージをお客様ご自身の声で録音することができます。録音がない場合には当社の通常のアナウンスが流れます。
**不在応答メッセージ**
不在応答サービスを設定すると、お客様のメッセージを相手の方に伝えますが、相手の方の伝言メッセージは録音されません。[不在案内]
不在応答のメッセージは、お客様ご自身の声で録音することができます。お客様がメッセージを録音すると自動的に設定され、消去すると無効となります。







# 留守番電話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

● **関東・甲信／東海／関西地域のお客様は12-5ページをご参照ください。**
● **北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は12-7ページをご参照ください。**

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。

● 留守番電話サービスが行われる条件は、以下の4通りです。
・電源が入っていないとき
・「圏外（圏外）」が表示されているとき
・オフラインモードが設定（ON）されているとき
・応答しないで着信音が停止したあと
● V303Tでお話し中のときは、留守番電話サービスに移行されません（ただし、割込通話サービスにお申し込みいただいている場合は留守番電話サービスに移行されます）。
● **ご契約いただいた地域以外からは、サービスコード（☞12-18ページ）をご利用になるか、一般電話（☞12-21ページ）から操作を行ってください。**
● **圏外の場合は、一般電話（☞12-21ページ）から操作を行ってください。**

## ■留守番電話サービスを設定する

**1** ⊙ 7 2 の順に押す

**2** ◎で「呼出あり」を選択し、●を押す

▶ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。
● 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
● 現在、「**呼出なし**」はご利用いただけません。

留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは自動的に解除されます。

留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま相手の方と通話ができます。

## ■伝言メッセージを再生（消去）する

**伝言メッセージについて**

- 伝言メッセージは1件あたり最大約3分間で、20件録音できます。すでに20件録音されている場合は、伝言メッセージをお預かりできませんので、不要な伝言メッセージは消去してください。
- 伝言メッセージの保存期間：最後に伝言メッセージが録音されたとき、または最後に伝言メッセージを再生したときから、お預かりしているすべての伝言メッセージを48時間保存します。

### 伝言メッセージを再生（消去）する

**1** [1] [4] [1] [6] [発信] の順に押す

アナウンスに従って操作を行ってください。
伝言メッセージの再生中に以下のボタン操作ができます。

| 操　作 | 機　能 |
|---|---|
| [#] | 次のメッセージを再生する |
| [1] | 再生中のメッセージを最初に戻す |
| [*] [5] | 一時停止する |
| [*] [6] | 倍速再生する |
| [*] [7] | 音量を上げる |
| [*] [8] | 音量を下げる |
| [*] [9] | 一時停止、倍速再生を解除する |

**2** [Power] を押す

- **メッセージお預かり表示「留」について（伝言通知機能）**
  留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしていると、V303Tのディスプレイに「留」を表示して、お知らせします。メッセージお預かり表示は、お預かりしている伝言メッセージがすでにお聞きになったものであっても表示されます。従ってすでにお聞きになったメッセージは、消去することをお勧めします。

## ■不在案内メッセージを録音（変更・確認）する

電話をかけてきた相手の方へ伝言をお預かりする前にお知らせするメッセージを、お客様のお好みのメッセージに変更することができます。不在案内メッセージは最大3分間録音することができます。

### 不在案内メッセージを録音（変更・確認）する

**1** [1] [4] [1] [8] [発信] の順に押す

アナウンスに従って、不在案内メッセージを録音（変更・確認）してください。

**2** [Power] を押す

不在案内メッセージを録音しても、留守番電話サービスは開始されません。留守番電話サービスを開始するには、留守番電話サービスを設定する（☞12-9ページ）を参照してください。